

第一回 緊急シンポジウム : 国建アカデミーズ

「アジア」と「戦後」と「沖縄」のつながり

今回、鮫島・川崎・那根が発表する機会を頂いた。この三人のキーワードを挙げると、アジア・戦後・沖縄というものが浮かび上がる。鮫島は、インドをフィールドに都市構造を明らかにし、川崎が広島戦後復興の様相を描き、那根は沖縄離島集落の構成原理を明らかにした。アジアに一番近い沖縄とインド、現在でも戦後と言われている沖縄と戦後の広島を沖縄をフィールドにした那根の論文と見ながら、沖縄の一端を見ることができるのではないかな。

日時 : 2012年9月14日(金) 18:30 ~ (懇親会 20:00~)

場所 : 第一会議室

ゲスト : 鎌田 誠史
(国建OB・有明工業高等専門学校准教授・建築家)

主催 : 国建アカデミーズ
株式会社 国建

協力・協賛 : 平良 啓
(芸術工学博士)

お問い合わせ : 川崎 翔一

鮫島 拓

パトリック・ゲデスによるインドバローダ Baroda における都市計画に関する研究
- 保存的外科的手術の実践と定着 -

川崎 翔一

広島・基町における旧軍用地から都市施設用地への転用過程に関する研究
- 戦後の応急住宅・不法住宅群の形成と整理に着目して -

那根 律子

祭祀空間と住居移動から見た集落空間の構成原理に関する研究
- 沖縄・八重山諸島西表島祖納を事例に -